

## PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 09-103465

(43)Date of publication of application : 22.04.1997

(51)Int.Cl.

A61J 1/05  
 A61L 2/18  
 B65D 30/22  
 B65D 77/04  
 // A61K 7/13

(21)Application number : 07-298787

(71)Applicant : YAMAZAKI MAKOTO

(22)Date of filing : 11.10.1995

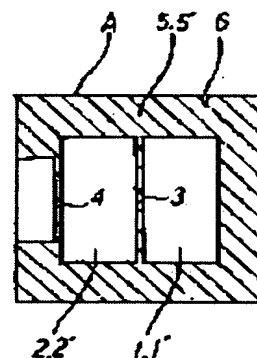
(72)Inventor : YAMAZAKI MAKOTO

## (54) SOFT SYNTHETIC RESIN BAG CONTAINING PLURAL SMALL BAGS

## (57)Abstract:

**PROBLEM TO BE SOLVED:** To easily mix the plural different kinds of liquid and powder with fingers from an outside by disposing plural small bags in one bag, separately containing the different kinds of the liquid and the powder or the like in the respective ones, tearing off a boundary by finger pressure and rubbing, mixing them and then extracting them to the outside.

**SOLUTION:** In the case of performing application to a hair dye, the liquid 1 is contained in the small bag 1' formed by piling up an upper sheet 5 and a lower sheet 5' made of soft synthetic resin, the liquid 2 is contained in the small bag 2' across an easily tearable boundary 3 and the small bag 2' is closed by the boundary 4. Then, at the time of use, the boundary 3 is torn off by pressurizing the liquid 1 with fingers and the liquids 1 and 2 are rubbed with the fingers and mixed well. When mixing is ended, the boundary 4 is torn off by pressurizing the small bags 1' and 2' further with the fingers and liquid mixture is ejected to the outside. By such a product, the effects of easily mixing the plural different kinds of the liquid, the powder and granules from the outside with the fingers, preventing soiling since mixing is performed from the outside of this bag A and minimizing the loss of contents, etc. are attained.



## LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision  
of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's  
decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2003 Japan Patent Office

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公 開 特 許 公 報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平9-103465

(43) 公開日 平成9年(1997)4月22日

(51) Int.Cl. <sup>8</sup>	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
A 6 1 J 1/05			A 6 1 J 1/00	3 5 1 A
A 6 1 L 2/18			A 6 1 L 2/18	
B 6 5 D 30/22			B 6 5 D 30/22	G
77/04			77/04	F
// A 6 1 K 7/13			A 6 1 K 7/13	
審査請求 未請求 請求項の数 3 書面 (全 3 頁)				

(21) 出願番号 特願平7-298787

(22) 出願日 平成7年(1995)10月11日

(71) 出願人 395020232

山崎 誠

福井県福井市みのり3丁目22番地5号

(72) 発明者 山崎 誠

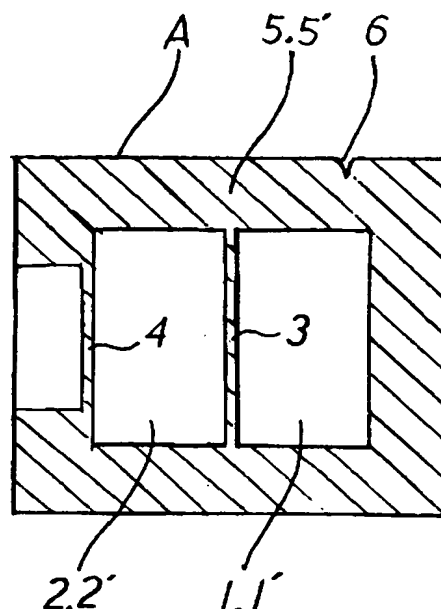
福井県福井市みのり3丁目22番5号

(54) 【発明の名称】 複数の小袋を内容した軟質合成樹脂袋。

(57) 【要約】

【目的】複数の異質の物を分離内容し外から指の圧迫や捻りで境を剥離し混合したり抽出するもので、液や粉や顆粒等や、医薬品とミネラル飲料水や、消毒液と注射器等の物を1つの大袋に殺菌消毒して分離し内容した複数の小袋に入れ境で分離し指圧や捻りで境を剥離したり、切れ目を破ったりして人命救助の緊急時に役立たせることができる。

【構成】袋A、小袋、液、粉、顆粒、医薬、ミネラル飲料水、消毒液、注射器。



**【特許請求の範囲】**

【請求項 1】 1つの袋 A に複数の小袋 1'、2' を配し異質の液 1、2 や粉 1、2 や又は顆粒 1、2 を組合せ自由に分離内容した小袋 1'、2' に入れ境 3 を指圧と揉みで剥し混合した後に境 4 を剥がし外に抽出することを特徴とする複数の小袋を内容した軟質合成樹脂袋。

【請求項 2】 1つの袋 A に複数の小袋 1'、2' を配し消毒液 2 を分離内容し、境 3 を強くし殺菌消毒した小袋 1' に注射器 1 とガーゼ 1 (図示せず) を入れる、注射器 1 とガーゼ 1 を切れ目 6 を破り取りだし前記消毒液 2 を内容する小袋 2' を指圧で境 4 を剥ぎ消毒液 2 を前記ガーゼ 1 に染み込ませ患部に塗布消毒し更に取り出した注射器 1 で注射することを特徴とする複数の小袋を内容した軟質合成樹脂袋。

【請求項 3】 1つの袋 A に医薬 2 を小袋 2' に分離内容し、境 3 を介して浄水 1 を小袋 1' に分離内容して先ず患者に医薬 2 を境 4 を指圧と揉みで剥し飲ませ、次に境 3 を同じく剥がし浄水 1 を飲ませることを特徴とする複数の小袋を内容した軟質合成樹脂袋。

**【発明の詳細な説明】****【0001】**

【産業上の利用分野】 異質の物の混合取出しや緊急時の施薬や注射に関する。

**【0002】**

【従来技術】 今迄の頭髮染めは 1 液と 2 液を混合する時は袋を切り器の中に液を移し刷毛で混合する為に混合液が刷毛や器等に付着残存して損失が多かった。したがって液全体が少量の場合はその損失と方法が問題視されてきた。したがって液全体が少量の場合はその損失と方法が問題視されてきた。飲食物の調味料や頭髮染色剤や医薬品や食品の液体と液体の混合、液体と粉の混合、粉と粉の混合、その他顆粒や乾燥野菜の混合等々それぞれの袋を鉋やナイフで破り、器に移し前述の如く混合する煩雑さは実に面倒であった。手の汚れの洗浄、滴下した机や床の洗浄、汚れた刷毛や器の洗浄、鉋やナイフの洗浄等の後始末にかなりの時間を要し面倒であるが他に良い方法が無いと言うことでやむを得ず今日迄放置されてきた。次に重要なことは緊急時の施薬は薬と浄水を要するが浄水を捜すのに時間がかかり困ることがある、又緊急時に注射をするとき消毒液を要するが不潔な場所や不潔な手では注射ができずそれ迄に注射器やガーゼに菌が付着しては困る場合があり治療する迄完全な殺菌消毒した状態を保つことは難しいことであった。

**【0003】****【発明が解決しようとする課題】**

- 1、複数の異質の液や粉を分離内容の袋を破らず混合できること。
- 2、混合した後で洗浄する物がないこと。
- 3、液や粉の損失を最小限にしたい。
- 4、容器や刷毛の洗浄をなくし作業時間を短縮したい。

5、混合時に酸化しないようにしたい。

6、緊急時の施薬や治療に役立たせたい。

**【0004】****【課題を解決するための手段】**

- 1、複数の異質の液や粉や顆粒の混合が指で外から容易にできる。
- 2、容器が不要で袋の中の境を剥離混合するので汚れる物がない。
- 3、内容物の損失を最小限にできる。
- 4、作業時間を著しく短縮できる。
- 5、混合時の酸化を嫌う物には最適の手段である。
- 6、緊急時に 1 つ袋に医薬と飲料水や注射器と消毒液等を分離同封して置く。

**【0005】**

【作用】 袋に複数の小袋を内容し異質物を混合したり取出す。

**【0006】**

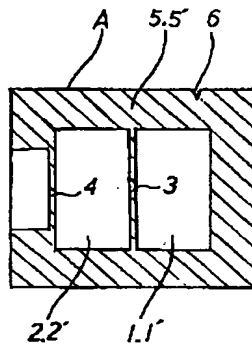
【実施例】 図 1 は正面図を示す。図 2 は側面図を示す。頭髮染めを 1 例とするに 1 液と 2 液を器に滴下し、刷毛で攪拌混合し適当に混合した後で頭髮に塗る、若干凝固した混合液は刷毛で多少は塗易くなっているが床や机に滴下して汚すことが多い、又容器を使用後洗浄する必要がある等煩雑さがつきまとう刷毛に直接混合液を小口から抽出可能なら器の洗浄は要らず器に付着する混合液の損失が少なくなる。複数の食品調味料が必要な即席食品等にも便利である。更に食事毎に飲む必要のある複数の異種の液や粉や顆粒や錠剤の医薬は 1 食事分毎に 1 袋に分離内容されてあれば便利だし取り出しに鉋やナイフを必要でなければ更に便利である。以上の如く利用する物はきわめて多く煩雑を嫌う世相にマッチした物である。以下図面にもとづき詳細に説明する。軟質合成樹脂製の上シート 5 と下シート 5' の 2 枚のシートを重ね小袋 1' に液 1 又は粉 1 を入れ小袋 2' に液 2 又は粉 2 を剥離容易な境 3 を隔てて内容し境 4 で小袋を閉じる。前記上シート 5 と下シート 5' を合わせて小袋 1'、2' にし境 3、4 の溶着も超音波溶着して商品化する。次に液 1 を指で圧迫し境 3 を剥し該液を指で揉んでよく混合する。該液 1 と液 2 の混合が終われば更に指で小袋を圧迫し押せば境 4 は剥離し混合液を外え抽出が可能になる。頭髮染めや接着剤や医療薬や治療の注射や調味料等の利用分野は極めて多い。又薬を緊急に飲ませなくてはならぬ一刻を争う緊急時には非常用医薬 2 と殺菌消毒した適量のミネラル飲料水 1 を前記の如く一つの袋 A に分離内容しておけば浄水を捜す時間が要らず、鉋も要らず、直ちに患者の口に医薬 2 を与え適量のミネラル飲料水 1 を飲ませることができて極めて便利である。更に内部を殺菌消毒した小袋 1' に注射器とガーゼ (図示せず) を内容し小袋 2' に消毒液を分離内容して一つ袋に入れてあれば不潔な場所でも不潔な手でも緊急治療が直ちに行えて人命救助に極めて便利で、先に注射器とガーゼの袋 1

の切れ目を破り取り出し、次に消毒液 2 を境 4 を指圧で剥ぎガーゼに染み込ませ消毒して注射すればよい、袋 A 内の異質の内容物は 2 種に限らず 3～4 種以上でも良く限定しない。

【発明の効果】

- 1、複数の異質の液や粉や顆粒の混合が外から指で容易にできる。
- 2、液を移す容器不要で袋の外から混合するので汚れる物が無い。
- 3、内容物の損失を最小限にできる。
- 4、作業時間を著しく短縮できる。
- 5、混合時に酸化を嫌う物には最適である。
- 6、薬と飲料水や、注射器に消毒液同封等は緊急時に最良の救助ができる。

【図 1】



【図面の簡単な説明】

【図 1】 正面図

【図 2】 側面図

【符号の説明】

A、袋

1、液又は粉又は顆粒又は浄水又は注射器

1'、小袋

2、液又は粉又は顆粒又は消毒液

2'、小袋

3、境

4、境

5、上シート

5'、下シート

6、切れ目

【図 2】

